



樹齢500年を超える犬塚の樗(写真左)。「蓮如上人近松御舊(旧蹟)」の碑が建つ本願寺近松別院(右上)。「高(たか)観音」で知られる近松寺(右下)。



犬塚の樗

伝説と歴史の舞台を歩く

けやき

DATA 大津市

- 歩行距離▶約3km
- 歩行時間▶約1時間

蓮如上人の身代わりになった忠犬の物語

浄土真宗中興の祖・蓮如上人の逸話として、大津市堅田の光徳寺に伝わる「堅田源兵衛の首」の物語を以前に紹介したが、布教活動の拠点でもあった大津には、蓮如にまつわる伝説がたくさん残っている。蓮如は親鸞の教えを平明な言葉で分かりやすく人々に説き、大衆の支持を得たが、この勢いを危ぶんだ比叡山延暦寺の衆徒は宗旨に弾圧を加え、京都東山の大谷本願寺を焼き討ちにする。この難を避けて湖南地方を転々としていた蓮如は、三井寺に庇護され、親鸞の御真影を護る顕證寺(現在の本願寺近松別院)が建立された。いよいよ北陸へ布教の旅に出ようとする蓮如だが、上人の人氣を心よく思わない者が料

法難を逃れて逢坂山を越えた蓮如一行は、安養寺付近で敵対する衆徒に襲われたが、門前の石に隠れたところ、追手の振り下ろす刀に合わせて石は左右に傾き、蓮如を守ったといわれている。その石は「身代わり名号石(みょうごういし)」として安養寺に安置されている(拝観要予約)。



安養寺

理に毒を盛り、殺めようとする。ところが蓮如のお供の犬が突然、膳をひっくり返し、その料理を食べて身代わりに死んでしまう。この犬は寺の一面に手厚く葬られたという。大津赤十字病院の近くにある犬塚がそれである。引いたため植えられたという樗は地域の人々に今も大切に守

られ、現在は大津市指定文化財の天然記念物に登録されている。

ここから山際の石段を登れば近松寺だ。市街地を見下ろす眺望もよく、愛犬と散歩する人の姿もちらほら。蓮如のもうひとつの旧跡・安養寺まで山道を下れば、しばし森林浴も楽しめる。



モデルコース
 JR大津駅 12分 本願寺近松別院 3分 犬塚の樗
 4分 近松寺 11分 安養寺 12分 JR大津駅
 ※移動時間はあくまでも目安です。

バックナンバーをKEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!
<http://www.keibun.co.jp>



“Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意図があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな「近江」という舞台を、登場人物のひとりになった気分です歩いてみてはいかがでしょうか。

※近松別院の由緒説明板より。資料によって「顕證寺」「顕正寺」の表記も見られる。